

平成26年度 森林環境教育事業

5年生 野外体験活動

桑名郡木曾岬町立木曾岬小学校



①事業名：森林環境教育事業

②目的：木曾岬町は、1級河川『木曾川』の最下流部に位置し、この河川から、大きな恩恵を受けております。しかしながら、上流部との交流活動もなく、山間地域を実感する機会がありません。このことから、木曾川の源となる山間地域を訪れ、森林とのふれあいにより、河川の恵みは森林から授かっていること認知する機会を作る。

③内容：木曾川の源流地を訪れ、上流部の森林の存在によって下流地域が支えられていることを児童たちが認識する機会を作る。

④事業費：987,537円(うち交付金707,000円)

⑤内 容：体験学習(一泊)

⑥場 所：長野県木曾郡木祖村(木曾川源流の里)

⑦時 期：H26.7.16 ~ H26.7.17

(平成26年度からの新規事業)

⑧効 果：森林からの恵みを体感することにより、
森林の必要性や大切さを実感させることができた。

※事業の受益者 小学5年生 51人



木祖村

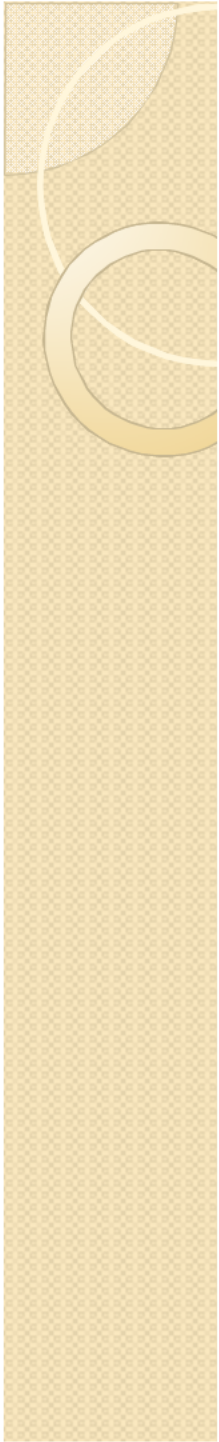
木曾岬町

木曾川の下流の様子



野外体験活動の目的

- 木曽川を媒介とした木祖村と木曽岬町の交流事業を通じて、改めて木曽岬町のよさを見つめ直し、ふるさとへのいっそうの愛着心を育てる。
- 木祖村ならではの体験をすることで、自然・郷土への興味・関心・見識を高め、児童の生きる力の育成を図る。
- 自然豊かな澄んだ山の空気の中で、トレッキング・キャンプファイヤーなどの活動を通じ、自然の良さ・厳しさなどを自分の肌で感じ取る。
- 諸活動を通して、お互いに協力し合ったり思いやったりすることの大切さを実感するとともに、集団行動における規律や社会生活でのマナーなどを身につける。



飯ごうでご飯をたき、 バーベキュー

- 火をおこして、ご飯をたく



キャンプファイヤー

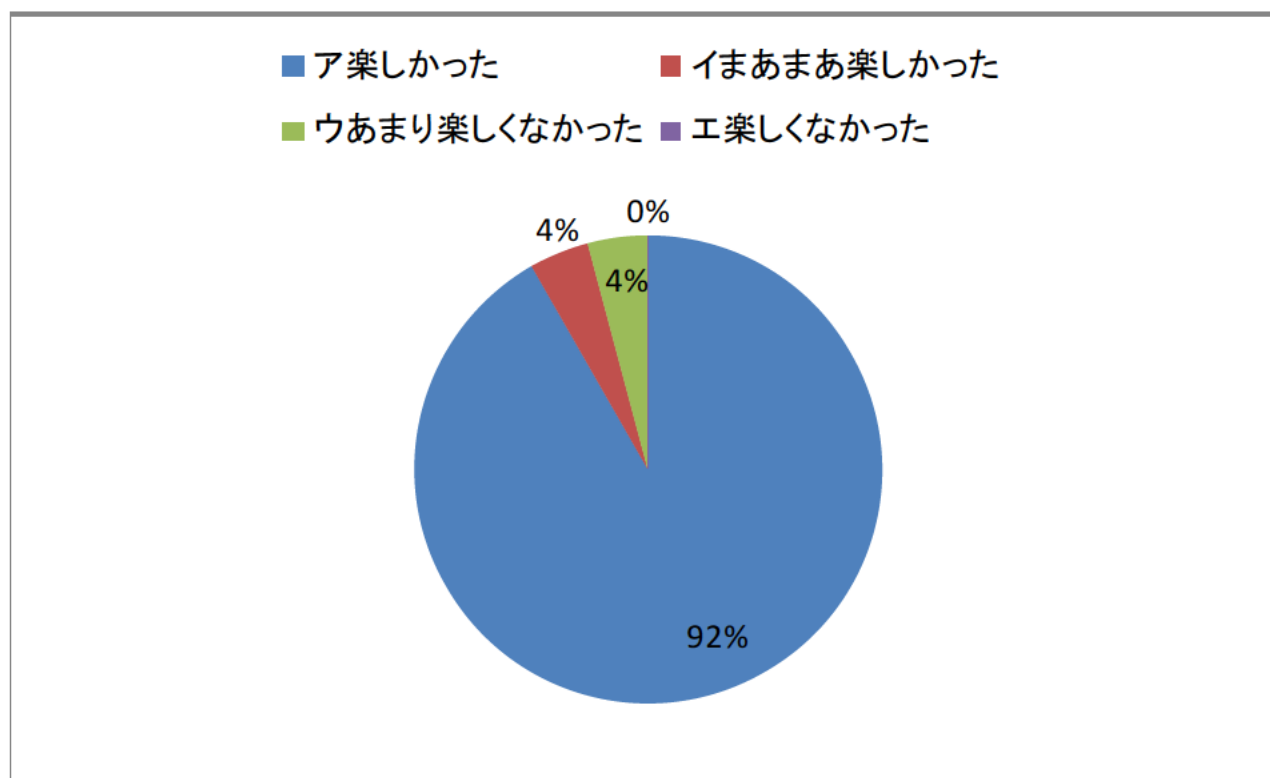


カヌー体験



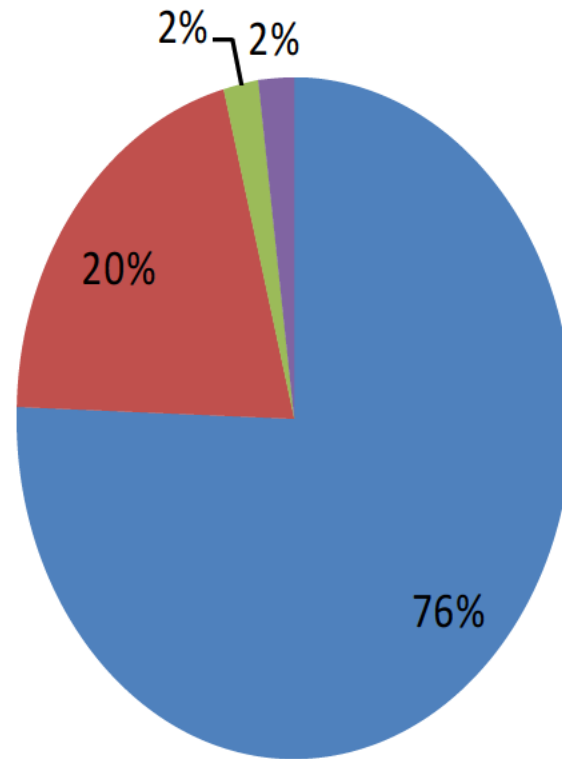
子どもたちの感想から


1 あなたは、今回の野外体験活動について、全体的な感想はどうでしたか。次の中から選んでください。




水木沢自然林のトレッキング

- ア楽しかった
- イまあまあ楽しかった
- ウあまり楽しくなかった
- エ楽しくなかった



- 
- 水木天然林では、くまが出てこないように、ベルを鳴らしました。
 - トレッキングも楽しかったです。木の年れいとかもあって、山の頂上についたらけしきがとてもきれいで、さかなどがあつてつらかったけど、のぼつてよかつたと思ひました。とちゆうで、木にかみなりが落ちて、2本に分けられた木もあつて、木にくまのつめあともあつてこわかつたです。くまよけのすずとかあつて、安心しました。自然の大切さを知つてよかつたと思ひました。

- 
- トレッキングの時には、すごいものを見ました。せみのだっぴのしゅん間です。NPOのいわはらさんという人も、「これはきちょうですね」と言っていました。私も初めて見たので、家に帰ってすぐお母さんにじまんしました。
 - トレッキングの時に、木のこととかを話してくれて、とても木のこと分かりました。私が一番印象に残った木は、サワラです。サワラは日本で一番大きい木だそうです。